

- ◆会長/小口 泰幸 ◆幹事/宮坂 康弘
- ◆司会=川村総一郎SAA、吉越 潔副SAA
- ◆ゲストビジター=米山奨学生 張旭光君
- ◆出席報告

本日	72.55%	14名欠席
前回訂正	84.31%	8名欠席

- ◆ラッキーナンバー=No. 2 川村総一郎君
- ◆ニコニコボックス=●小口泰幸君・宮坂康弘君=本日の例会はロータリーの友特別月間です。会報・雑誌・広報委員会の皆さん、よろしくお祈いします。米山奨学生の張さん、ようこそいらっしやいました。●小針哲郎君君・原田美室君・笠原正司君・浅見英男君=本日はロータリーの友月間で卓話を担当します。よろしくお祈いします。●玉本広人君=先日は、湖畔清掃にご参加頂き有り難うございました。●八幡一成君=諏訪湖のワカサギ漁が始まりました。豊漁を期待しています。●岩波寿亮君・吉越潔君・川村総一郎君・小林由孝君・合田敦子君・佐藤 忠士君=11/24 バスハイクみなさんの参加奮ってお待ちします。●平林明君=ゴルフ例会たまたま優勝してしまいました。●川村総一郎君=ラッキーナンバーに当たりました。

◆会長告知・小口泰幸君=本日は先週から開催されています先日のロータリー奉仕デー「諏訪湖畔清掃」には早朝より多くの会員にご参加いただき誠にありがとうございました。おかげさまでとてもきれいになりました。諏訪湖も喜んでると思います。

さて、本日の会長告知は昨年度開催された会員セミナーで三井章義会員が「地区役員の体験談とロータリーに思うこと」というテーマで講和されましたが、当日の出席者が16名と少なかったのを改めて紹介したいと思います。

それでは、私のロータリー履歴とロータリーに入るまでのことについても触れさせていただきます。私は大学を卒業した昭和30年に社会人となり10年間東京で会社勤めをして、昭和40年に諏訪に帰り父親が社長をしておりました下諏訪倉庫に入社をいたしました。

家の前に、今は儀象堂という施設になっていますが、中部電力の諏訪の支社がありました。その中部電力の所長さんとは頻りに顔を見合わせていたのですが、3年ぐらい経った頃、ある日出合い頭に突然、三井さん、近々大変なことが起こるよと言って、ニコニコしながら行ってしまいました。私はいったい何が起こるか、全然想像はできませんでした。

しかし、ニコニコ話をされたので、あまり悪い話ではないだろうとは思って安心はしておりましたが、数日後に突然、諏訪ロータリークラブから手紙が届きました。貴殿が諏訪ロータリークラブの会員に推薦されました。次の金曜日にぬのはんまで来てください、そういう内容でありました。

突然のことに驚き、私は父親に相談したところ、入れてもらいなさいと言われまた驚きました。実は父親は以前に入会を推薦していただいたようですが、あんな暇人の集まりには入らないと公言をして入会を拒んだそうです。あの頃、世間一般で

は暇人の昼食会というような感覚を持っていたようです。父もロータリーについては誤解をしていたと思います。にもかかわらず、なぜ父親は私に入りなさいと言ったのか、その時の私には理解できませんでしたけれども、入会後に徐々に疑問が解けてきました。

日頃、私などが声をかけられないような、諏訪における有名な実業人の方々が大勢いまして、1人1人お名前を申し上げますと、皆様もなるほどと胸に落ちる方もいると思いますけれども、そんな偉い方々がクラブの中では一会員として若い人と同じように振る舞っていたことに私は驚き、若い私にも声をかけてくださいました。父親はそれらの人との交流が若い私にとって勉強になると考えたのではないかと思います。父親は入らなかったが、息子の私には入りなさいと勧めてくれたわけでありました。

会員の中に父のいとこが2人と大物の知り合いの方々がおりましたので、私も入ってから少しほっとしたような気持ちになったことを覚えております。そんな偉い方が対等に言葉をかけてくださいましたので、30歳そこそこの私にはこんな素晴らしい会はないというように思いました。欠席することなく毎回例会に出席しましたが、緊張の連続でお昼の味もよくわからなかったわけでありました。

数年が経ちまして、クラブの先輩方とも話ができるようになったころ、私はクラブ幹事に任命されました。幹事の任期は通常は1年ですが任期が終わるころ、次の会長から私が幹事を受けるなら会長を受けるということになり2年幹事を受けました。確かに幹事を受ける若い会員が少なかったことも事実です。初期の頃の幹事さんだった信濃の小池さんも何年もやったそうですが、それ以降はほとんどみんな1年で辞めていきましたが、私が久しぶりに2年幹事を務めることになりました。1年目は油屋の社長の有賀さんが会長の時にやりました。2年目は茅野のダイヤ菊の宮坂宏光さんが会長の時に、私がクラブ幹事を受けることを条件に会長を受けたということですから、私も2年間続けて幹事になりました。

クラブ幹事が終わった頃に、クラブの幹事や要職を数々務めた大先輩のぬのはん社長藤原正男さんが、当時360地区として愛知県と長野県が1つの地区を形成しており、そのガバナーに選ばれました。藤原さんは地区幹事として私を指名されました。それがロータリーにはまり込み足が抜けなくなった、そんな始まりであります。

その頃のロータリーの魅力について、私の記憶であります。普段は話をできないような大先輩と話ができるロータリーは、私にとっては大変な魅力でした。いろいろな会合に出席しているうちに、知らず知らずにロータリーが好きになったような気がいたします。様々な年齢の人との交流、様々な職業の人と交流することができ、そこから事業上の新しい発想やヒントをいただくことも数多くありました。私にとっては大変ロータリーはすごい魅力を感じたことを覚えております。そして、ロータリーの考えは間違っていないから、例会の出席を重ねるたびにロータリーが好きになるのは当然のことであると思います。

ある時、諏訪クラブの小松茂会員に「私はどうやらロータリーが好きになったようだ」と言ったら、彼は私に対してこう言いました。「三井さんは性に合っているといったほうがいいよ」と言われました。小松さんがどういう意味で私に性に合っ

いると言ったかよくわからなかったのですが、よく考えてみましたら、私の考えや行動の中にロータリーの精神が根付いていると教えてもらったような気がいたしまして、私はその言葉を大変嬉しく感じたことを覚えております。

本日はここまでといたします。続きは次週です。

◆**幹事報告・宮坂康弘君**＝①本日の例会は、ロータリーの友特別別月間です。会報・雑誌・広報委員会の笠原委員長、よろしくお願いします。②9月のロータリーレートは1ドル＝145円です。③10/4(金)の例会は、「ガバナー補佐事前訪問例会」となります。役員および委員長の皆さんには、当日クラブ協議会にて発表していただく事業計画の要旨を提出していただくように9/3(火)にメール連絡してあります。本日が締め切りでしたが、9名から連絡がありません。至急対応をお願いします。④今後のイベント予定です。9/27(金) 諏訪市小中学校図書・プロジェクター贈呈式(諏訪南中学校)、9/28(土)RYLA(岡谷市・テクノプラザおかやにて)、基調講演はライブ配信されます。ご希望の方は連絡ください。11/10(日)は地区大会で、会場は、軽井沢プリンスホテルウエストとなっております。⑤RI事務局より折井会員に、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー3回目のバッジが届いております。後ほど、小口会長より伝達授与していただきます。⑥本日、例会終了後、定例の理事会を開催いたします。メンバーの皆さんはお集まりください。

◆**委員会報告●小林由孝親睦・クラブ親善委員長**＝11/24にバスハイクが開催されます。晩秋の箱根を訪ねます。ロープウェイの絶景や、大涌谷の散策を予定しています。オリент急行を貸切ったのスペシャルフレンチランチや、岡田美術館の鑑賞も楽しめるのではないかと思います。10/31が締め切りとなっています。お早めの申込をよろしくお願いします。

●**平林明君**＝今年もゴルフ同好会をやろうと思います。11/3、諏訪湖カントリークラブで開催します。多くの方の参加をお待ちしています。

●**玉本広人社会奉仕委員長**＝先日の湖畔清掃、ご参加頂き有り難うございました。9/27(金)、諏訪市小中学校図書・プロジェクター贈呈式を諏訪南中学校で行います。

◆**米山奨学生●張旭光君**＝皆様、こんにちは。近況について報告します。現在行っている研究では、フィブラートという薬の、脂肪肝の予防効果を検証しています。日本の肝細胞がんの罹患率は世界第二位です。2019年には34,000人の肝細胞関連死が報告されています。検証の結果、フィブラートが肝臓における脂肪滴蓄積を減少させ、脂肪肝を軽減し、肝腫瘍の発生率を有意に抑制する効果があることがわかりました。今後さらに、フィブラートによる肝腫瘍形成抑制効果のメカニズムを探ります。

◆**セレモニー●ポールハリスフェローバッジ贈呈(3回目)**
＝折井俊美君



◆**クラブフォーラム(ロータリーの友特別月間)●笠原正司 会報・雑誌・広報委員長**＝皆さん、こんにちは。会報委員長の笠原でございます。本日は、ロータリーの友のご紹介と、週報の在り方・作り方について皆さんにご意見をうかがいたいと思います。よろしくお願いします。まず、ロータリーの友ですが、1952年7月に日本のロータリーが2地区に分割をされたのを期に、お互いの地区のことを知っていたいという思いから、翌1月両地区に共通の雑誌として発行されました。2025年1月で、創刊72年を迎えます。次にロータリーの友の役割ですが、国際ロータリーから認可を受けた雑誌であり、各国で発行されており、約30種類あるそうです。認可を受ける為には、資料記載の通り6点を満たす必要がありますが、特に、国際ロータリーが指定する記事を掲載すること、国際ロータリーの方針を伝えること、それから電子版で購読できること、の3点について詳しく資料に記載しています。また、横組みと縦組みがある理由について調べてみたところ、俳句を載せるために縦組みのページがあるということで、面白いと思いましたので紹介させていただきます。ロータリアンはロータリーの雑誌を購読する義務があります。ぜひ、ロータリーの友が毎月配られる際は、目を通して頂きたいと思います。以上簡単ですがロータリーの友についての説明でした。続きまして、せっかくの卓話のお時間を頂いていますので、週報について意見をうかがいたいと思います。現在、当委員会が諏訪ロータリーウィークリーという週報を作成しており、紙媒体を印刷、皆さんに配布、という形をとっています。当委員会で、週報をもっとよくしていくにはどうしたらよいか、といったことを話し合っているところ、文書だけでなく、映像や画像を使って週報を作成することができないか、という意見が出ており、本日皆さんにも考えてもらえないかと思い、この場での議題としました。理由としては、①発言者の意図やニュアンスを100%残すためには、編集の巧拙が反映される紙にまとめるやり方より、そのまま画像や音声で残す方法も有効なのではないか②デジタルアーカイブとして、いつでもどこでも閲覧ができる③臨場感のある思い出の保存の仕方ができる④週報担当者の作成負担の軽減があげられると思います。当然、なぜ紙媒体なのか、といった当クラブにおける週報の歴史や意味合いについて、きちんと調べるのが前提ではありますが、当委員会は、週報の役割は2点あると考えます。1つは記録としての週報、そしてもう1つは記憶(思い出)としての週報です。この役割を果たす上で、映像に残すことも検討できないか、皆さんの意見も踏まえた上、検討を進めたいと考えています。この場を借りて、15分ほどディスカッションを各テーブルで行って頂きたいと思います。委員がテーブルについて、意見をお聞きます。それを一旦会報委員会で持ち帰りまして、あらためてとりまとめて報告をしたいと思います。それでは、よろしくお願いします。

◆今後の例会日程

9/20(金)	クラブフォーラム(米山特別月間)
9/27(金)	準法定休日
10/4(金)	クラブ協議会(ガバナー補佐事前訪問)
10/11(金)	休日
10/18(日)	ガバナー公式訪問